

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年10月11日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	井原市役所	代表者名	大舌 勲
担当者部署	総務部企画課情報管理係	連絡先電話番号	0866-62-9511
担当者役職		担当者氏名	
住所	715-8601 岡山県井原市井原町311番地1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川崎 直也
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員の減少に伴う業務の負担増にRPAが有効ということが受講した職員に伝わり、実際に導入している自治体の話を聞くことが出来て、有意義だったため。 RPAの導入の流れやツールの選定の方法等を詳しく説明していただき、分かりやすかったため。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年10月8日	13時30分	15時00分		90
3-2. 派遣場所	会場名	井原市役所	最寄駅	井原駅	
	所在地	岡山県井原市井原町311番地1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	41人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	RPA導入に当たって、効果的な業務の選定が難しい。庁内の各担当に理解されづらい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	RPAについての講演を受講することで、職員にRPAの概要について理解してもらう。また、どのような業務にRPAを適用できるのかや導入の際の流れ、また導入後の効果などについて理解してもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	RPAについて講演会を開催し、RPAを適用する業務についての考え方やRPAを適用する業務の洗い出しの方法や各課に協力していただくための努力についてご教示いただいた。また、泉大津市の現在の取組みとして、RPAの本格導入についてや、ICTを活用した手続き案内サービス、そして今後の展開についてもご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	RPAの概要、RPAをどのような業務に適用できるのか、導入すればどのような効果があるのか等を詳しく知ることが出来たため、受講した職員の意識が高まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	職員にRPAを知ってもらい、理解してもらうことが目的だったため、特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 理解度：満足40%、普通52% 意見：講師の方の説明は、丁寧に理路整然としており良かった。RPAを使って削減できる業務がたくさんある可能性を感じた。職員が全員で前向きに協力する意識をもたないといけないと思った。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。